

修士論文の和文要旨

大学院情報システム学研究科		博士前期課程	情報システム設計学 専攻
氏 名	神谷 友輔		学籍番号 0550013
論文題目	ネットワークコミュニケーションの円滑化を目的とした SNS からの人物分析 - ネ己分析エージェントの開発と評価 -		
要 旨			
<p>近年，インターネットを介したコミュニケーションが注目され，中でも SNS（ソーシャルネットワークサービス）が成熟したコミュニケーションツールとして期待されている．SNS とは，社会的ネットワークをオンラインで提供するコミュニティ型の Web サイトのことであり，匿名が基本となる従来のコミュニケーションサイトよりも信頼性がおけると言われている．しかし，ネットワークコミュニケーションにおける衝突や誤解，希薄化，義務化といった問題は相変わらず解決されておらず，これらの問題の解決なくしてはよりよいネットワークコミュニケーションは望めない．</p> <p>そこで，現実世界のコミュニケーション問題の解決に定評のあるエニアグラムという人物分析手法に着目し，これをネットワークコミュニケーションにおける上記の問題に対して適用し，問題解決を試みる．エニアグラムでは，人間を 9 つのタイプに分類する事で，自分やコミュニケーション相手のタイプの特徴やプラス面やマイナス面を知り，コミュニケーションの円滑化を試みている．</p> <p>本研究では，エニアグラムの効果をユーザが容易に得られるように，ユーザの SNS の利用履歴から自動的に人物分析を行うネットワーク自己分析機能（ネ己分析機能）を提案し，本機能を実装したネ己分析エージェントを開発した．このエージェントは，SNS 内でのユーザの行動や振舞いを記録，分析し，ユーザを 9 つのタイプに分類する．本稿では，まずネ己分析機能の手法について述べ，次に実際に 30 人からなる SNS コミュニティで行った実験の結果とその評価について述べる．</p> <p>実験の結果，ユーザの潜在的タイプを含むほとんどのタイプをほぼ正確に分析することができた．しかし，現状のネ己分析機能ではいくつかのタイプを正確に分析できないことがわかり，この問題を解決する 1 つの手段として，SVM（サポートベクターマシン）を利用した学習を導入し，精度の向上について考察した．そして，分析結果の信頼性などについての問題の解決方法を考察し，最後に，本システムで得られた分析結果のネットワークコミュニケーション上での有用な利用方法などを以って今後の展望とする．</p>			